

## 東日本大震災発生時の葛飾

葛飾区内でも震度5弱を記録し、建物の一部が破損したり、地盤が液体状になる液状化現象が起きたりしました。また、交通機関の停止によって行き場をなくした方が、新小岩駅や青砥駅などの主要駅を中心にあふれていたため、避難所75カ所を開設し、1,000人を超える帰宅困難者を受け入れました。



倒壊した堀切菖蒲園の灯籠



避難所の様子



地割れが起こった木根川橋野球場



地震発生直後の新小岩駅



地震発生直後の青砥駅



地元町会による炊き出し

## 今すぐ確認！自宅は安全ですか？



### 家具の配置も確認！

寝室や避難経路となる場所には家具・家電を置かないようにしましょう。他に置き場がない場合は、人がいる向きに倒れないよう配置を工夫しましょう。

### 災害時における 応援協定の締結

区では周辺自治体や事業者などと、災害時の救援物資・医薬品の提供、避難施設の使用などについて応援協定を締結しています。



### 密集地域の整備

【担当課】 密集地域整備担当課

☎03 - 5654 - 8345

区内には、老朽化した木造建築物が集中している密集市街地があります。この地域は、防災面で多くの課題を抱えているため、地区計画による規制・誘導とともに、密集住宅市街地整備促進事業(※)を進めています。

※道路の拡幅により、消防車などの緊急車両が通れる幅員6メートルの道路を整備する他、公園や小広場を整備し、防災性の向上や居住環境の改善を図る事業



### 【対象地域と進捗状況】 (令和元年度末時点)

地区	不燃領域率(※)
四つ木一・二丁目	63.0%
東四つ木三・四丁目	51.7%
東立石四丁目	55.6%
堀切二丁目周辺および四丁目	55.6%

※市街地の「燃えにくさ」を表す指標。70%を超えると延焼による市街地の焼失率は、ほぼ0%となります。